

国立大学法人秋田大学の中期計画 新旧対照表

現 行	変 更 案	変 更 理 由
<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>4 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(3)附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>【47】③地域における指導的・モデル的な学校となるように、多様な子供たちを受け入れるとともに、秋田県及び秋田市教育委員会が参加する<u>地域連携協議会</u>を年1回以上開催して、地域と連携した教育や研究に取り組み、地域の教育課題の解決に貢献する。また、外部評価を6年ごとに実施し、そこで得られた結果を検証のうえ、改善につなげる。</p>	<p>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>4 その他の目標を達成するための措置</p> <p>(3)附属学校に関する目標を達成するための措置</p> <p>【47】③地域における指導的・モデル的な学校となるように、多様な子供たちを受け入れるとともに、秋田県及び秋田市教育委員会が参加する<u>地域協働協議会</u>を年1回以上開催して、地域と連携した教育や研究に取り組み、地域の教育課題の解決に貢献する。また、外部評価を6年ごとに実施し、そこで得られた結果を検証のうえ、改善につなげる。</p>	<p>附属学校のコミュニティ・スクール化への対応として「附属学校地域連携協議会」を発展的に解消し、令和2年10月1日から「附属学校地域協働協議会」を設置したため。</p>

現 行		変 更 案		変 更 理 由
別表（収容定員）		別表（収容定員）		<p>令和3年度に先進ヘルスケア工学院が設置されることに伴い、同年度末時点の収容定員を変更するため。</p> <p>なお、先進ヘルスケア工学院（修士課程）に記載の収容定員10名は1学年分であり、医学系研究科修士課程の3名及び理工学研究科（博士前期課程）7名を活用するものである。</p>
学 部	<p>(略)</p>	学 部	<p>(略)</p>	
大学院	<p>国際資源学研究科 110 人 (うち博士前期課程 80 人) (うち博士後期課程 30 人) 教育学研究科 52 人 (うち修士課程 12 人) (うち専門職学位課程 40 人) 医学系研究科 163 人 (うち修士課程 10 人) (うち博士前期課程 24 人) (うち博士後期課程 9 人) (うち博士課程 120 人) 理工学研究科 330 人 (うち博士前期課程 300 人) (うち博士後期課程 30 人)</p>	大学院及び研究科等連係課程実施基本組織	<p>国際資源学研究科 110 人 (うち博士前期課程 80 人) (うち博士後期課程 30 人) 教育学研究科 52 人 (うち修士課程 12 人) (うち専門職学位課程 40 人) 医学系研究科 163 人【内3 人】 (うち修士課程 10 人【内3 人】) (うち博士前期課程 24 人) (うち博士後期課程 9 人) (うち博士課程 120 人) 理工学研究科 330 人【内7 人】 (うち博士前期課程 300 人【内7 人】) (うち博士後期課程 30 人) 先進ヘルスケア工学院【10 人】 (うち修士課程【10 人】)</p> <p>【内 人】は、研究科等連係課程実施基本組織に活用する収容定員を示す。</p>	